

藤枝だこ凧



桃太郎の描かれた藤枝だこ凧

藤枝だこ凧は、今では見かけることができなくなっ
てしまいましたが、明治時代（一八六八〜一九一二）
から昭和時代（一九二六〜一九八九）の初期まで七、
八人の職人がいて、なかには藤枝市高柳の八木家
（平吉・平八）や藤枝市本町の松浦家（菊蔵・辰次郎・貞次郎）
のように二代、三代にわたって百年余も続いた家もありました。

一代の職人としては、藤枝市益津の松島清兵衛さん、同鬼岩寺の青島初五郎さん、同若王寺の飯塚榮二位さん、同本町の笹野平七さんの名前が伝えられています。

明治時代には、藤枝市の中心を流れる瀬戸川の河原で凧揚げ大会が開催され、その名残りなのか昭和四十年代までは、凧揚げの風景が良く見受けられました。藤枝の凧揚げは、浜松のような凧合戦ではなく、ただ高く揚げることを競ったといわれています。

凧の型は相良型のもものと障子型のもものがあり、絵柄は金時、桃太郎、弁慶、日に鶴、日に波、武者などがありました。